

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	壮年期等保健事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	保健センター							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	成人保健係						
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		1 体の健康づくりへの取組みを支援する									
		副目的	10-2		13-4											
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	健康増進法、健康こまきいきいきプラン														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	69 %			委託	31 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	概ね40歳以上の市民を対象として、主体的に体や心の健康づくりに取り組めるようにし、介護を要する状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活が送れるよう支援する。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 健康教育事業(健康教室、地区健康教育の実施) 健康相談事業(定例健康相談、医師健康相談、予防相談、老人健康相談の実施) 機能訓練事業(パークアリーナ小牧で実施する筋力アップトレーニング) 訪問指導事業(疾病や要介護予防が必要な人に対する訪問指導の実施) なお、事業については医師健康相談及び老人健康相談を除き、主に正職員で対応した。 また、10月から市長マニフェストとして、40歳、50歳、60歳、70歳を対象に歯科医院で個別で受診する無料歯科健診を実施した。</p> <p>【23年度直接経費】 健康まつり開催委託料 4,161千円 老人健康相談事業委託料 2,300千円 成人歯科健診事業委託料 964千円 いきいき世代個別歯科健診事業委託料 3,115千円 謝礼、需用費等 4,949千円</p> <p>○24年度実施内容 ・いきいき世代個別歯科健診については、6月から実施する。 その他、23年度同様に実施する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	12,006	10,933	15,489	21,914	
		正職員	従事者数	人	3.50	3.50	3.50	3.50
			人件費	千円	18,616	18,616	18,616	18,616
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	30,622	29,549	34,105	40,530
	対前年比		%		96.4	115.4	118.8	
財源	一般財源		千円	28,912	28,409	32,133	38,610	
	国・県支出金		千円	1,710	720	1,552	1,500	
	その他財源		千円	0	420	420	420	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	健康教育実施数	回	目標		225	251	273
実績				271	295	177	
健康相談実施数	回	目標		212	238	247	252
		実績		260	239	260	
訪問指導数	件	目標		130	126	131	-
		実績		137	115	45	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	健康づくりに日頃から気をつけている市民の割合	%	目標		77.0	78.0	79.0
実績				75.0	74.1	71.9	
延べ訪問者数	人	目標		130	126	131	-
		実績		137	115	45	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	健康教育事業を始め、他の事業についても積極的に取り組んだが、市民からの依頼も減少したため、目標達成に至らなかった。 また、23年度からは、いきいき世代予防個別歯科健診を実施し、口腔の健康にも取り組めるよう支援をしている。
	事業実施における課題等		介護予防や健康づくり支援など、壮年期の必要な人いかに働きかけていくかが課題である。
	事業を縮小・廃止したときの影響		要介護状態になることの予防や年齢・体力に合わせた健康づくり支援など、質の高い生活ができるよう生活面に着目したサービスの提供を図っており、他に類似する事業がない事から、これらの機能を果たせなくなると考える。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	健康教育事業、健康相談事業、機能訓練事業、訪問指導事業などの事業も市民の健康を守るためには、必要であると考えため、対象や手段の見直しはしていくが、事業の内容は、現状維持と考える。	
	改善案等	健康日本21こまき計画に基づき、各部会での検討してきた事をもとに、行政、地域、個人が一体となって、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるよう積極的に支援していく。 ・ウォーキングマップの作成と普及、高齢者の低栄養に対するアプローチ、ゲートキーパー養成講座の開催、妊婦への歯周病予防歯科健診の普及啓発、市内禁煙・分煙マップの作成。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。